

企画展

村の学びと楽しみ

— 本寺肝入の蔵書から —

令和8年 1月24日(土)~3月22日(日)



国の重要文化的景観に選定された本寺地区

農村の肝入。肝入の家の書物から探る村の教養と文化。



小笠原流のおり紙



天気記録



一関市博物館

〒021-0101 岩手県一関市厳美町字沖野々215-1
TEL 0191-29-3180 FAX 0191-33-4006
<https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/museum/>



企画展

村の学びと楽しみ

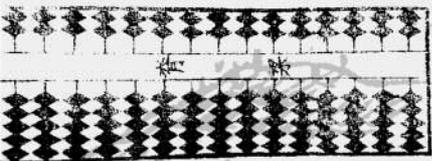
— 本寺肝入の蔵書から —

今回の舞台となる一関市^{げん びちろほんでら ちく}巖美町^{くりこまやま}本寺地区は、栗駒山を源として東に流れる^{いわい がわ}磐井川の上流に位置する中山間地です。

本寺は、仙台藩の時代には、隣接する^{やまや}山谷とともに^{いわい ぐんにし いわい いつくし らは ごう}磐井郡西岩井五串村端郷に位置付けられ、^{さもいり}両地区で1名の肝入がおかれまして。今回展示する資料は、その肝入をつとめた佐藤家に伝来した貴重な品々です。

佐藤家には、数百点の資料があり、古文書の他に多くの書籍が含まれています。その分野は、^{わさん いがく うたいほん かんせき りょうり}和算・医学・謡本・漢籍・料理などバラエティーに富んでいます。これらの書籍は、本寺周辺の人々にも広く貸し出され、蓄積された知識は生活に活かされていきました。

本展では、肝入の家に伝えられた書籍類を通して、当時の文化と教養の源泉について紹介するものです。当時の暮らしを支えた知恵の集積に触れていただければ幸いです。



講演会

近世・近代本寺の書籍と文化

講師／竹原万雄氏 (尚絅学院大学准教授)

日時／2月22日① 13:30～15:00

定員／100名

電話申込必要／参加無料



骨寺村莊園遺跡村落調査研究報告会

「まつり田」のなかの「こまか田」

講師／菅田慶信氏 (岩手県立大学盛岡短期大学部名誉教授)

中尊寺所領としての骨寺村 — 他事例との比較から —

講師／岡陽一郎氏 (東北芸術工科大学准教授)

天明飢饉の影響について — 乏しい資料 —

講師／菊池勇夫 (当館館長)

村役人層と和算

講師／相馬美貴子 (当館学芸員)

日時／2月15日① 13:30～15:30 定員／50名

電話申込必要／参加無料

館長講座4

地域社会の文化力

講師／菊池勇夫 (当館館長)

日時／3月15日① 13:30～15:00

定員／50名

電話申込必要／参加無料

展示解説会

日時／2月 1日① 13:30～

2月22日① 15:10～

3月15日① 15:10～

各40分程度

入館料が必要 申込不要

一関市博物館

〒021-0101 岩手県一関市巖美町字沖野々215-1

TEL 0191-29-3180 FAX 0191-33-4006

<https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/museum/>

開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

入館無料日 展覧会初日の1月24日①

入館料 一般 300円(240円) 高校生・大学生 200円(160円)

中学生以下 無料 ※()内は団体(20名以上)割引料金

次の方々の入館料は免除といたします

①障がい者・介護者の方 (障がい者手帳などを提示願います)

②65歳以上の一関市民の方 (年齢・住所が証明できるものを提示願います)



最新の情報は、
当館ホームページまたは
電話にてご確認ください
ますようお願いいたします

